

令和7年
2025年

10月8日
水曜日

第11809号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



米沢牛150周年「記念セリ市場」が開催された……P3

注目のヘッドライン

【食肉家計調査・8月】支出肉類計は 8626円で前年超え

総務省統計局が公表した8月家計調査報告(2人以上世帯=1世帯あたり・品目別)によると、肉類支出金額は8626円(前年同月比4.7%増)で前年超えとなった。

…詳細はP2

C.H. ダラス最高賞は米澤佐藤畜産が受賞 —米沢牛 150周年記念市場

…詳細はP3

- ▶ [食肉家計調査・8月] 支出肉類計は8626円で前年超え…… P 2
- ▶ C.H.ダラス最高賞はキロ1万811円、米澤佐藤畜産が受賞—米沢牛150周年記念市場…… P3
- ▶ [牛肉需給動向・8月] 推定出回り量は前年比1.8%減…… P 4
- ▶ スターゼンがローマイヤ那須工場で「ファミリーデー」開催…… P4~5
- ▶ 日本ハムが「シャウエッセン 夜味」を期間限定で再発売…… P 5
- ▶ 「伝承」には厚切りロースハムを投入し、新たな食べ方提案—伊藤ハム米久HD冬ギフト発表会②…… P6
- ▶ [豚肉需給動向8月] 推定出回り量は3.3%減…… P7
- ▶ 「食品主要195社」価格改定動向調査、10月の飲食品品値上げ3024品目—TDB…… P7
- ▶ 東京組が理事・支部長会開催、新規事業“豚しゃぶの日”など好評…… P8
- ▶ シンポジウム「国産食肉が食卓に届くために～畜産の今 価格を考える～」11月16日開催—日本食肉消費総合センター…… P8~9
- ▶ [鶏肉需給動向・8月] 推定出回り量は前年同月比0.2%増…… P 9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 7日…… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 7日…… P11

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける

スターゼン

<https://www.starzen.co.jp/>

とてつぱん

S Foods

<https://www.sfoods.co.jp/>

【食肉家計調査・8月】支出肉類計は8626円で前年超え

総務省統計局が公表した8月家計調査報告(2人以上世帯=1世帯あたり・品目別)によると、肉類支出金額は8626円(前年同月比4.7%増)で前年超えとなった。

生鮮肉への支出金額は6934円(5.0%増)と増加した。内訳をみると、牛肉への支出金額が1846円(0.5%減)、購入量が494g(2.1%増)。豚肉は支出金

額が2889円(5.1%増)、購入量が1801g(5.5%増)、鶏肉は支出金額が1575円(10.4%増)、購入量が1449g(3.6%増)と増加している。その他、合いびき肉は支出金額が303円(3.4%増)、購入量は197g(2.0%減)、他の生鮮肉は支出金額が321円(16.3%増)、購入量は131g(27.2%増)。また、加工肉計の支出金額は1693円(3.2%増)となった。

家計調査による肉類支出金額および購入量(全国・二人以上の世帯1世帯あたり・品目別) 単位:円、グラム、%

	肉類計		生鮮肉計		牛肉				豚肉			
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
5年計	98,457	101.9	79,811	102.0	21,449	95.9	5,853	94.4	33,553	103.3	22,041	98.9
6年上半期計	48,370	101.2	39,409	101.3	9,985	98.8	2,688	93.3	16,731	100.6	11,057	100.3
6年8月	8,241	102.0	6,601	102.5	1,855	103.1	484	93.8	2,749	102.5	1,707	98.3
9月	7,772	100.5	6,309	100.5	1,644	107.0	481	103.4	2,688	97.6	1,740	97.7
10月	8,119	100.2	6,611	100.2	1,631	100.6	422	97.9	2,850	99.6	1,774	95.9
11月	8,254	100.5	6,650	99.8	1,560	91.0	457	102.7	2,927	102.3	1,856	100.4
12月	10,842	101.8	8,895	102.4	3,090	102.1	620	94.8	3,148	102.9	1,993	98.6
6年計	99,326	100.9	80,658	101.1	21,321	99.4	5,529	94.5	33,818	100.8	21,835	99.1
7年1月	8,115	100.2	6,730	99.9	1,633	93.2	435	96.2	2,901	101.2	1,789	98.1
2月	7,654	97.6	6,290	97.4	1,398	91.9	387	93.7	2,777	98.9	1,722	91.4
3月	8,356	100.4	6,835	100.4	1,568	92.0	425	91.0	2,991	103.4	1,910	99.4
4月	8,252	104.7	6,695	105.3	1,618	101.0	439	97.6	2,891	107.3	1,843	102.9
5月	8,635	104.1	6,986	104.5	1,755	97.8	445	93.3	2,947	107.5	1,877	102.3
6月	8,175	103.1	6,552	102.9	1,596	99.1	437	101.9	2,844	104.3	1,814	100.6
7年上半期計	49,187	101.7	40,088	101.7	9,568	95.8	2,568	95.5	17,351	103.7	10,955	99.1
7月	8,114	105.0	6,493	105.0	1,588	102.2	438	106.6	2,824	103.7	1,729	101.6
8月	8,626	104.7	6,934	105.0	1,846	99.5	494	102.1	2,889	105.1	1,801	105.5

	鶏肉				合いびき肉				他の生鮮肉			
	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
5年計	18,558	106.8	17,949	99.1	3,055	103.0	2,207	100.1	3,195	103.8	1,568	97.6
6年上半期計	9,511	104.1	9,345	105.0	1,688	110.8	1,218	110.8	1,492	100.3	780	105.1
6年8月	1,427	101.1	1,399	102.6	293	113.6	201	104.7	276	94.2	103	71.0
9月	1,467	98.7	1,526	107.2	282	107.6	200	103.1	228	97.0	135	102.3
10月	1,595	100.5	1,584	105.5	279	106.1	198	107.0	257	96.6	119	93.0
11月	1,629	103.8	1,586	105.2	251	104.1	168	97.1	282	102.9	142	106.8
12月	1,993	102.2	1,801	95.5	250	101.6	183	101.1	414	102.7	184	99.5
6年計	19,033	102.6	18,643	103.9	3,339	109.3	2,380	107.8	3,147	98.5	1,559	99.4
7年1月	1,650	102.6	1,563	104.1	251	96.9	174	91.6	295	118.0	142	100.7
2月	1,601	99.8	1,499	94.6	255	101.2	174	95.1	260	97.4	140	102.2
3月	1,719	104.2	1,650	102.2	290	98.0	207	95.4	267	101.1	156	102.0
4月	1,630	105.9	1,549	102.7	302	105.2	208	104.5	253	108.1	123	100.0
5月	1,664	105.0	1,564	99.7	326	104.8	227	100.9	293	114.5	140	118.6
6月	1,572	103.1	1,458	93.0	313	110.6	216	105.9	229	103.6	105	97.2
7年上半期計	9,836	103.4	9,283	99.3	1,737	102.9	1,206	99.0	1,597	107.0	806	103.3
7月	1,538	109.0	1,436	103.7	305	102.7	210	99.1	237	119.7	128	120.8
8月	1,575	110.4	1,449	103.6	303	103.4	197	98.0	321	116.3	131	127.2

	ハム				ソーセージ				ベーコン			
	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
5年計	4,750	99.8	2,375	96.7	7,876	102.0	5,304	97.5	2,590	99.1	1,455	93.7
6年上半期計	2,061	100.7	1,036	99.0	3,947	102.0	2,581	97.1	1,279	97.2	703	92.4
6年8月	422	94.2	206	93.2	669	101.7	450	104.4	202	101.5	104	90.4
9月	343	100.3	170	98.8	634	100.8	433	104.8	204	100.0	108	100.0
10月	339	99.7	155	93.4	680	99.0	428	93.7	199	92.6	103	93.6
11月	443	109.1	215	113.2	682	102.2	449	102.5	208	96.7	108	93.9
12月	648	92.7	271	81.1	764	106.1	480	99.6	232	93.9	119	86.9
6年計	4,690	98.7	2,274	95.7	8,003	101.6	5,228	98.6	2,524	97.5	1,353	93.0
7年1月	311	98.1	149	93.1	625	102.3	393	98.0	187	94.9	93	86.1
2月	287	98.6	134	92.4	635	100.6	407	99.0	196	96.1	95	82.6
3月	311	94.2	141	82.0	718	105.0	467	106.1	222	100.0	107	93.0
4月	339	103.0	158	99.4	683	100.0	456	101.8	223	100.0	116	91.3
5月	371	98.1	172	90.1	689	100.6	438	95.2	230	105.5	124	103.3
6月	428	102.9	206	98.6	659	100.9	410	97.4	213	99.1	104	88.1
7年上半期計	2,047	99.3	960	92.7	4,009	101.6	2,571	99.6	1,271	99.4	639	90.9
7月	437	100.7	208	95.9	652	104.2	419	102.4	195	97.5	98	89.9
8月	428	101.4	196	95.1	692	103.4	449	99.8	209	103.5	106	101.9

C.H. ダラス最高賞はキロ1万811円、米澤佐藤畜産が受賞 米沢牛 150周年記念市場

(株)米沢食肉公社は2日、米沢牛150周年「記念セリ市場」を開催。記念市場では、米沢牛を全国的に広めたチャールズ・ヘンリー・ダラス氏にちなみ、「C.H.ダラス賞」を設けたほか、「MUFA」「小ザシ指数」に基づく表彰も行われ、「C.H.ダラス賞」の最高賞には米澤佐藤畜産の枝肉が輝き、キロ当たり1万811円(税込み)という最高値で取引された。

米沢牛の起源は明治8年に英国人教師チャールズ・ヘンリー・ダラス氏が任期を終えて横浜へ帰る際、1頭の牛を持ち帰り、居留地で仲間振る舞ったところそのおいしさが評判となったことにさかのぼるといわれている。今回の記念市場は、それから150周年の節目を迎えるに当たり、米沢牛の存在感を内外に発信し、取引の活性化と消費拡大を目的として実施したものの。

記念市場の前日には、米沢牛生産者、購買者他、関係者らを多数招き、記念市場前夜祭を実施し、記念講演ならびに祝賀会が開かれた。冒頭、米沢食肉公社の佐藤康寛社長は、「全国的に和牛の価格は伸び悩んでおり、米沢牛についても非常に厳しい状況で推移している。そのような中、品質、脂質、モモ抜けの良い小ザシの米沢牛については、(キロ当たり)3千円を超える価格で取引いただいている。おいしさを追求する米沢牛として、さらなる品質の向上、そして、そのおいしさをより一層国内外にアピールしていかなくてはならないと強く思っている」とあいさつを行った。

講演会では、①MUFAによる牛枝肉評価公表への取り組み②霜降り「繊細さ」が味を変える～小ザシの画像解析による客観的評価～をテーマに、山形県農林水産部畜産振興課の星光雄課長補佐、国立大学法人帯広畜産大学食料研究部門の口田圭吾教授による講演がそれぞれ行われた。

その後、祝賀会では、米沢銘柄推進協議会会長の近藤洋介市長らが祝辞を述べ、乾杯のあいさつをJA山形おきたまの若林英毅代表理事組合長が行った。県南家畜商組合の佐藤秀彌理事長(米澤佐藤畜産代表取締役会長)が鏡開きの音頭を取り、佐藤理事長の「おいしい米沢牛をつくるよう頑張るぞ」の掛け声に合わせて、生産者も「頑張るぞ」と意気盛んに返した。

記念市場当日、競り前のセレモニー冒頭、米沢食肉公社の佐藤社長が「これからの50年、200周年を目指し、しっかりと米沢牛を作っていく」と意欲を示し、近藤市長による手締めで競りが開始された。



上場頭数75頭、参加購買者24社による競りが行われ、佐藤社長と購買者代表4人の計5人が審査員を務め、自らがダラス氏になった気持ちで「仲間振る舞うならこの牛」と考える枝肉を1頭ずつ選出するダラス賞が設けられた。

さらに、その中で最も高単価で落札された枝肉を「150周年記念C.H.ダラス賞最高賞」とし、最高賞に米沢市の米澤佐藤畜産の枝肉(枝肉重量450kg、格付等級A5、BMSNo.12)が輝き、キロ当たり1万811円で米澤佐藤畜産が落札。単価が1万円を超える取引は極めてまれであることから、記念市場にふさわしい結果となった。このほか、米沢食肉公社では初の試みとして、「MUFA」や「小ザシ指数」に基づく表彰も行われた。なお、今回の出品牛全体のMUFA平均値は63・7、小ザシ指数平均値は106・8となった。

入賞牛は次の通り(キロ単価、購買者)

【150周年記念C.H.ダラス賞】最高賞 米澤佐藤畜産(1万811円、米澤佐藤畜産)▷矢久保翔(3687円、佐藤畜産食品)、あさくらファーム(3714円、米沢牛黄木)、遠藤功(3680円、東日本フード)、田中畜産(4328円、丸市)

【MUFA特別賞】手塚敬(3646円、米沢ミート)、白萩屋畜産(3243円、高橋畜産食肉)、田中畜産(3309円、佐藤畜産食品)

【小ザシ指数 特別賞】遠藤功(3680円、東日本フード※C.H.ダラス賞とダブル受賞)、白萩屋畜産(3584円、米沢ミート)、阿部修二(3471円、日山畜産)

【牛肉需給動向・8月】推定出回り量は前年比1・8%減

農畜産業振興機構が発表した8月分の牛肉需給動向によると、推定出回り量は6万6537t(前年同月比1・8%減)と前年同月を下回った。このうち国産品は2万3884t(6・1%減)、輸入品は4万2653t(0・7%増)となった。

国内生産量は2万4893t(3・8%減)だった一方、輸入量は4万3219t(11・6%減)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が1万476t(4・5%減)、輸入品が14万2387t(3・3%減)で合計15万2863t(3・4%減)となった。

牛肉需給表

(単位:t、()内前年比%)

年度・月	推定期首在庫	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
				輸入品在庫	国産品在庫	うち輸入品	うち国産品
令和5年 8	159,090 (105.6)	26,782 (101.0)	45,668 (85.4)	148,038 (101.0)	12,343 (93.2)	44,246 (100.1)	26,275 (101.5)
9	160,381 (100.3)	28,100 (100.0)	37,023 (71.3)	143,424 (94.2)	12,902 (94.6)	41,637 (89.8)	26,739 (99.0)
10	156,326 (94.3)	30,422 (105.4)	40,334 (83.0)	137,851 (90.8)	13,026 (99.5)	45,907 (93.8)	29,462 (103.1)
11	150,877 (91.5)	35,030 (98.6)	33,409 (84.8)	125,976 (84.0)	12,805 (100.8)	45,284 (109.8)	34,409 (97.7)
12	138,781 (85.3)	31,557 (99.5)	36,092 (96.4)	117,207 (82.0)	12,619 (99.4)	44,861 (100.6)	30,833 (99.9)
令和6年 1	129,826 (83.5)	27,314 (102.5)	43,264 (108.4)	122,238 (85.3)	11,618 (97.2)	38,233 (96.7)	27,712 (102.8)
2	133,856 (86.2)	26,904 (101.6)	31,010 (81.6)	117,666 (82.5)	11,442 (92.7)	35,582 (92.0)	26,385 (103.6)
3	129,108 (83.3)	28,696 (97.3)	38,362 (104.3)	111,229 (81.1)	13,108 (104.1)	44,799 (106.1)	26,259 (92.2)
4	124,337 (83.0)	31,126 (103.0)	63,202 (93.1)	124,210 (84.0)	11,835 (95.7)	50,221 (87.7)	31,620 (106.5)
5	136,045 (84.9)	28,272 (103.6)	48,512 (104.4)	128,998 (87.0)	12,269 (100.1)	43,724 (95.2)	27,285 (101.6)
6	141,267 (88.0)	27,417 (96.5)	47,574 (109.0)	135,344 (91.4)	11,885 (97.1)	41,228 (93.9)	27,029 (97.2)
7	147,229 (91.8)	32,090 (104.6)	49,342 (127.5)	140,727 (96.0)	11,271 (90.4)	43,959 (109.5)	31,956 (107.2)
8	151,998 (95.5)	25,883 (96.6)	48,897 (107.1)	147,288 (99.5)	10,966 (88.8)	42,336 (95.7)	25,423 (96.8)
9	158,254 (98.7)	28,279 (100.6)	38,168 (103.1)	144,550 (100.8)	11,298 (87.6)	40,906 (98.2)	27,026 (101.1)
10	155,848 (99.7)	31,221 (102.6)	43,933 (108.9)	145,078 (105.2)	11,230 (86.2)	43,405 (94.6)	30,480 (103.5)
11	156,308 (103.6)	34,984 (99.9)	34,574 (103.5)	136,791 (108.6)	10,867 (84.9)	42,861 (94.6)	34,417 (100.0)
12	147,658 (106.4)	32,224 (102.1)	39,209 (108.6)	129,801 (110.7)	10,694 (84.7)	46,199 (103.0)	30,631 (99.3)
令和7年 1	140,495 (108.2)	27,305 (100.0)	32,541 (75.2)	126,100 (103.2)	10,131 (87.2)	36,242 (94.8)	27,231 (98.3)
2	136,231 (101.8)	26,345 (97.9)	29,353 (94.7)	122,960 (104.5)	10,125 (88.5)	32,493 (91.3)	25,602 (97.0)
3	133,085 (103.1)	28,305 (98.7)	30,955 (80.7)	121,690 (109.4)	10,518 (80.2)	32,225 (71.9)	26,937 (102.6)
4	132,208 (106.3)	30,580 (98.2)	53,087 (84.0)	129,540 (104.3)	9,928 (83.9)	45,237 (90.1)	30,210 (95.5)
5	139,468 (102.5)	27,320 (96.6)	48,403 (99.8)	137,482 (106.6)	9,891 (80.6)	40,461 (92.5)	26,505 (97.1)
6	147,373 (104.3)	27,841 (101.5)	42,220 (88.7)	138,534 (102.4)	8,963 (75.4)	41,168 (99.9)	27,803 (102.9)
7	152,150 (100.1)	24,893 (96.2)	43,219 (88.4)	142,387 (96.7)	10,476 (95.5)	42,653 (100.7)	23,884 (93.9)
8	152,150 (100.1)	24,893 (96.2)	43,219 (88.4)	142,387 (96.7)	10,476 (95.5)	42,653 (100.7)	23,884 (93.9)

スターゼンがローマイヤ那須工場で「ファミリーデー」開催

スターゼンは4日、栃木県那須塩原市のローマイヤ那須工場に従業員とその家族ら約130人を招き、「スターゼンファミリーデー」を開催した。昨年の品川本社、加世田工場、今年8月の千葉工場・松尾工場に続く開催となる。企業にとって一番の財産といえる「従業員」が安心して働いて力を発揮するのは家族の支えがあればこそ。スターゼングループの事業や働いている場所をみてもらい、従業員の家族に理解を深めてもらうことで、スターゼングループへの理解と親しみを深め、家族にスターゼングループのファンになってもらい、従業員のエンゲージメントを高めていくことを目的としている。

1988年設立のローマイヤ那須工場は主にハム・ソーセージなどの製造を行っており、伝統的な製法を

守りながら品質管理にも注力。今回のファミリーデーでは入念な社内での打ち合わせを経て、同工場ならではの企画を実施。例えば、他のファミリーデーではスタンプラリーが中心だったが、那須工場ではクイズラリーを採用。工場のことを知ってもらい、実際に行っていることを体験してもらうことを重視した。

会場ではローマイヤとスターゼンの歴史や経営理念、ブランド・ビジョンなどをパネルや動画で紹介した他、ローマイヤの歴史コーナーでは貴重な瓶詰商品も展示。また、ウインナーの製造から包装までの工程を動画で紹介し、担当スタッフが詳しく説明した。

ソーセージの製造体験(上写真)では、参加者が専用の道具を使用して羊腸にひき肉を詰め、ねじってソーセージを完成させ、完成品との記念撮影も実施

した。子供からシニアまで幅広い世代が参加し、長い羊腸にひき肉が入っていく様子に驚いたり、自分の好きな長さでねじってソーセージの形にする工程では、「どのくらいにしよう」と楽しむ様子もうかがえた。

さらに重量当てコンテスト(下写真)では、指定された重さを予想してカルパスを計量。重さの目安パネルや計量担当者のヒントを基に挑戦し、参加者同士がコミュニケーションを取るきっかけにもなった。「ピタリ賞」には豪華商品が用意され、見事3人が受賞。ピタリ賞の瞬間には大きな歓声が上がった。

さらに社長室を開放し、社長席に座って写真撮影ができるフォトスポットを設置。また、スターゼンロジスティクスの配送用トラックやフォークリフトの運転席に座れる体験コーナーも用意された。その他、スターゼンが20年以上前から支援を行っている「ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティー・ジャパン」との取り組みや毎春開催されている少年野球春季全国大会(スターゼンカップ)のメインスポンサーとして、スポーツを通じた青少年の育成も支援していることも紹介。スターゼンのロゴ入りヘルメットやユニフォームの試着体験も行われた。

試食コーナーでは、ローマイヤ製造のハム・ソー



セージ、スターゼンのハンバーグや常陸牛の部位食べ比べ、ジャッキーなどを提供。ホットドッグ作成コーナーやサラダ、ポトフも用意され、参加者からは「いろいろな商品があつて食べ切れない」といううれしい悲鳴や「どれもおいしい」と喜びの声が寄せられた。

日本ハムが「シャウエッセン 夜味」を期間限定で再発売

日本ハムは1日、「シャウエッセン 夜味」「シャウスライス 夜味」の2品を期間限定で発売した。

シャウエッセンの消費シーンは、朝食・昼食が全体の約80%を占めている(※)が、「シャウエッセン 夜味」は濃厚スパイスで仕上げ、夕食向けに特化した商品だ。一番のお勧め調理方法は、これまで

推奨してきたボイル調理ではなく、「焼き調理」。発売2年目となる今回は、さらに焼き調理を推奨するための「シャウエッセン 夜味」を一番おいしく味わうための新しい調理方法、その名も「『ジュッ!!』から1分 黄金の肉汁コーティング焼き」をレシピ動画で紹介する。

合わせて2024年3月に発売した「シャウスライス」のシリーズ品として、「夕食」向けに「シャウスライス 夜味」を発売。少し厚め、濃い味に仕上げているので加熱しても、切っても使える万能商品として夕食メニュー



の幅を広げる。

「シャウエッセン 夜味」は、ソーセージの夕食シーンでの消費拡大を目指し、発売と同時にSNSを中心にさまざまなプロモーション展開で、市場に話題を提供していく。

※出典(食MAP、シャウエッセンの食シーン別出現、2018年4月~2024年3月)

シャウエッセン夜味情報 URL=<https://prtimes.jp/draft/a5ecf00e2292279ccc514d476ffe>

「伝承」には厚切りロースハムを投入し、新たな食べ方提案 伊藤ハム米久HD 冬ギフト発表会②

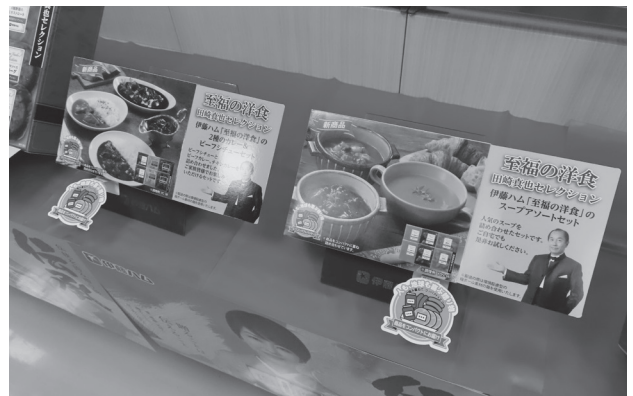
伊藤ハム米久ホールディングスが3日に行った冬ギフト発表会での、橋本覚・加工食品事業本部事業戦略統括部マーケティング部ギフト企画室長(上写真)によるギフト商品の説明概要は次の通り。

〔伝承〕当社のトップブランドとして2011年に発売した。原料には国産豚肉を使用。90余年にわたって培ってきた「想い」「技術」「品質」を結実し、独自基準によって作り上げた全ての単品が当社最高品位のシリーズとなっている。これまではブロックのみ、スライスのみをのセットを展開してきたが、昨年、ブロックとスライスを組み合わせたセットを投入して好評となった。今回も引き続き、こうしたラインアップを取りそろえていく。

また、新たな単品アイテムとして「特選超厚切りロースハム」を発売する。厚みが約20～25mmもあり、1枚で180gと食べ応えのあるハムステーキで、そのまま豪快に焼く、あるいは湯せんして食べることをお勧めする。湯せんは、沸騰しない程度のお湯(90度C程度)に厚切りロースハムを袋ごと入れ、7～9分ほど加熱する。こうすることで、ハムが水分を含んだまま加熱され、脂も程良く溶け、軟らかくおいしく食べられる。

〔伝承献呈〕ハムブロックを中心としたバラエティーセットを展開するロングセラーブランド。今回はブランド初となるスライスセットを発売する。これまでブロックセットに組み合わせて「特選ロースハム」「しっとりロース生ハム」というスライスアイテムを展開してきたが、初のスライスセットを発売するに当たり、「特選肩ロース」「特選厚切りあらびきステーキ」の2品を開発した。

「特選肩ロース」は、程良く脂が入り、肉の食感もロースハムと比較して食べ応えがあり、そのままはもちろん、サラダやサンドイッチなどの具材としてもお勧めな商品。「特選厚切りあらびきステーキ」はスパイスを使用した粗びきタイプのソーセージで、フライパンで焼き目が付くまで焼いて食べたり、角切りにしてポテトサラダの具材にするのもお勧めな商品となっている。



〔至福の洋食 田崎真也セレクション〕ワインとの相性の良い洋食アイテムを取りそろえているソムリエの田崎真也氏監修のセレクション。今回は「ビーフシチュー」「バターチキンカレー」「欧風ビーフカレー」のセットを新発売する。これまでもカレーとビーフシチューのセットは常温ギフトとして展開してきたが、より良い味わいにこだわり、賞味期間が長い冷凍帯に変更し、全面的にリニューアルしている。(連載続く)

【豚肉需給動向 8 月】 推定出回り量は 3・3%減

農畜産業振興機構が発表した8月分の豚肉需給動向によると、推定出回り量は14万1100t(前年同月比3・3%減)となった。このうち国産品は6万4151t(3・8%減)と減少、輸入品も7万6949t(3・0%減)と減少した。

また、国内生産量は6万3753t(2・9%減)、輸入量も7万4022t(12・0%減)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が2万1855t(1・1%減)、輸入品が21万6178t(7・9%増)で合計23万8033t(7・0%増)となった。

豚肉需給表

(単位:t、()内前年比%)

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量		
			輸入品在庫	国産品在庫	うち輸入品	うち国産品	
令和5年	8	70,175 (99.5)	73,862 (85.4)	217,704 (104.7)	21,032 (103.3)	76,225 (97.0)	69,796 (97.8)
	9	69,500 (95.5)	61,727 (85.1)	203,477 (99.5)	21,452 (110.7)	75,954 (99.9)	68,945 (93.6)
	10	78,467 (103.9)	70,100 (92.5)	192,812 (98.3)	19,689 (100.0)	80,765 (96.0)	80,064 (106.6)
	11	82,650 (101.9)	74,813 (85.1)	184,253 (94.2)	20,154 (107.5)	83,372 (94.3)	82,084 (100.2)
	12	81,152 (101.9)	67,663 (98.3)	170,120 (91.8)	21,381 (107.9)	81,796 (103.5)	79,774 (101.7)
令和6年	1	80,283 (103.7)	72,027 (96.2)	173,172 (91.8)	20,836 (112.4)	68,975 (96.4)	80,748 (102.7)
	2	77,558 (106.3)	64,527 (90.6)	165,686 (87.6)	21,439 (107.7)	72,013 (101.7)	76,853 (107.5)
	3	77,333 (94.7)	74,351 (107.7)	166,119 (87.6)	23,117 (114.3)	73,918 (107.8)	75,518 (93.0)
	4	78,976 (107.0)	98,780 (90.2)	174,059 (85.3)	22,670 (110.2)	90,840 (95.5)	79,317 (108.2)
	5	76,183 (100.1)	94,087 (104.9)	189,925 (84.8)	24,239 (120.0)	78,221 (111.9)	74,520 (97.6)
	6	66,309 (90.2)	81,660 (100.4)	193,156 (85.8)	24,750 (126.4)	78,429 (98.0)	65,690 (88.9)
	7	71,674 (105.0)	86,155 (115.1)	195,529 (88.8)	23,227 (111.9)	83,782 (104.8)	73,096 (109.2)
	8	65,646 (93.5)	84,078 (113.8)	200,290 (92.0)	22,108 (105.1)	79,317 (104.1)	66,669 (95.5)
	9	68,742 (98.9)	78,666 (127.4)	201,197 (98.9)	21,580 (100.6)	77,759 (102.4)	69,187 (100.4)
	10	79,514 (101.3)	86,742 (123.7)	201,922 (104.7)	21,384 (108.6)	86,017 (106.5)	79,588 (99.4)
	11	78,376 (94.8)	78,216 (104.5)	194,797 (105.7)	21,389 (106.1)	85,341 (102.4)	78,264 (95.3)
	12	80,655 (99.4)	76,518 (113.1)	185,736 (109.2)	22,458 (105.0)	85,579 (104.6)	79,418 (99.6)
令和7年	1	79,908 (99.6)	80,505 (111.8)	190,508 (110.0)	23,536 (113.0)	75,733 (109.8)	78,746 (97.6)
	2	72,607 (93.6)	71,911 (111.4)	192,819 (116.4)	24,121 (112.5)	69,600 (96.6)	71,884 (93.5)
	3	76,052 (98.3)	65,956 (88.7)	192,115 (115.6)	24,424 (105.7)	66,660 (90.2)	75,606 (100.1)
	4	77,457 (98.1)	93,904 (95.1)	197,256 (113.3)	24,518 (108.2)	88,763 (97.7)	77,266 (97.4)
	5	73,100 (96.1)	90,460 (96.1)	214,149 (112.8)	24,091 (99.4)	73,567 (94.0)	73,406 (98.6)
	6	68,598 (103.5)	83,731 (102.5)	220,673 (114.2)	24,002 (97.0)	77,207 (98.4)	68,560 (104.4)
	7	69,871 (97.5)	82,687 (96.0)	219,105 (112.1)	22,399 (96.4)	84,255 (100.6)	71,374 (97.6)
	8	63,753 (97.1)	74,022 (88.0)	216,178 (107.9)	21,855 (98.9)	76,949 (97.0)	64,151 (96.2)

「食品主要 195 社」 価格改定動向調査 10月の飲食料品値上げ 3024 品目—TDB

帝国データバンクが主要な食品メーカー195社を対象に行った調査によると、家庭用を中心とした10月の飲食料品値上げは3024品目、1回当たりの値上げ率平均は17%となった。前年10月に比べ100品目多く、また10カ月連続で前年を上回り、連続増加期間としては2022年の統計開始以降で最長を更新した。また、単月の値上げ品目数としては4月以来、6カ月ぶりに3千品目を上回った。

10月の値上げを食品分野別に集計すると、「酒類・飲料」(2262品目)が最も多く、続く「加工食品」(340品目)は包装米飯や餅製品が中心となった。「調味料」

(246品目)では、焼き肉のタレやみそ製品などが占めた。

25年通年の値上げは、12月までの公表分で累計2万381品目となり前年の実績を62・8%上回った。食品分野別では「調味料」(6148品目)が最も多く前年(1715品目)に比べ258・5%増、「酒類・飲料」(4871品目)も83・6%増と大幅に増加した。

先行きでは、11月の食品値上げ予定品目数が9月末時点で100品目未済にとどまっており、TDBでは通年の値上げ品目は、2万1千品目前後での着地を予想している。

東京組合が理事・支部長会開催、新規事業“豚しゃぶの日”など好評

東京都食肉生活衛生同業組合・同事業協同組合(関谷芳久理事長=下写真)は5日、理事・支部長会を東京都台東区の上野東天紅で開催。80人以上が参加した。

関谷理事長はあいさつの中で組合活動について、「今年9月には新たに“豚しゃぶの日”を設けた。非常に好評であり、各ブロックから多くの発注があった。また、包装資材においても真空パック用の袋の提供を実施し想像以上に反響があった」と報告。さらに10月18、19日に東京食肉市場で開催される「東京食肉市場まつり」について「毎年2万人規模で行われる一大イベントであり、多くの行列ができていて非常に活気がある。昨年参加し、改めて食肉はこれほど人気があるのかと実感した」と述べ、今年の盛況を祈願した。

一方で「今年に入り、和牛の中国輸出解禁へ向けた話も出ている。中国には1億人以上の富裕層があり、ましてや近年は日本を訪れて和牛をはじめとしたおいしいものをたくさん食べている。小売店の立場からいえば、中国で和牛の消費量が増えることで牛肉の価格が上昇し、小売店が買えなくなるのではないかと危惧さえ持っている。自民党の総裁も代わったが、今後食肉業界や当組合に影響があるようなことがあれば、しっかりと要望なども行っていきたい」と強調した。



会議では総務、企画指導、事業、広報、厚生 of 各々が上期事業報告と下期の概要について説明。さらに来年の新年賀詞懇親会開催案が報告され、全議案が承認された。なお、9月30日



時点で組合員数は500店、準会員17人となっている。その後、全国食肉公正取引協議会の木村元治専務理事が「食肉の表示と関係法規・コンプライアンス遵守について」と題して講演を行った。閉会後には懇親会が開催された。

シンポジウム「国産食肉が食卓に届くために～畜産の今 価格を考える～」 11月16日開催—日本食肉消費総合センター

公益(社)日本食肉消費総合センター(田家邦明理事長)は11月16日13時30分から、東京国際フォーラム(東京都千代田区)ホールD5の会場とオンラインを活用したハイブリッド方式で、国産食肉シンポジウム「国産食肉が食卓に届くために～畜産の今 価格を考える～」を開催する。会場視聴は10月29日まで、オンライン視聴は11月13日まで、参加者を募集している。

世界的な食料需要の急増や気候変動、世界情勢、食料価格の高騰や輸入の不安定化などにより、食肉をはじめとする食料供給リスクが増大。飼料などのコ

ストの増大もあり、日本国内の畜産経営が厳しい状況にある中、持続可能な国産食肉の供給について、生産、消費、行政などさまざまな方向から考え、理解を深める。

シンポジウムは2部構成で、第1部として、中村学園大学栄養科学部教授で九州大学名誉教授の福田晋氏が「持続可能な食肉供給システムを目指して」の演題で基調講演を行う。

第2部はフリーアナウンサーの高田英子氏の司会進行、ゲストパネリストに女優・タレントの田中律子氏を迎え、パネルディスカッションを行う。農水省畜産局

食肉鶏卵課の伊藤大介課長、女子栄養大学の新開省二教授、主婦連合会の田辺恵子副会長、JA全農ひろしま畜産部畜産課の広島食肉販売所の渡部栄治所長がパネリストを務める。

[実施要項]開催日時=11月16日13時30分~16時(開場13時)▷開催会場=東京国際フォーラムホールD5(東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)▷シンポジウムへの参加応募方法=https://meat-

symposium.com/にアクセスの上、専用応募フォームにより応募▷応募締め切り=対面 10月29日24時、オンライン 11月13日24時まで。参加費は無料▷問い合わせ先=「国産食肉が食卓に届くために」運営事務局、メールアドレス=contact@meat-symposium.com(受付時間=平日10~17時 ※土日・祝日を除く)

【鶏肉需給動向・8月】 推定出回り量は前年同月比0・2%増

農畜産業振興機構が発表した8月分の鶏肉需給動向によると、推定出回り量は18万3193t(前年同月比0・2%増)と、前年同月から増加した。このうち国産品は13万6194t(4・4%増)、輸入品は4万6999t(10・2%減)となった。

また、国内生産量は13万8069t(6・2%増)、輸入量は4万9613t(12・5%減)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が3万3153t(5・5%減)、輸入品が12万6707t(8・1%減)で合計15万9860t(7・6%減)となった。

鶏肉需給表

(単位:t、()内前年比%)

年度・月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量		
			輸入品在庫	国産品在庫	うち輸入品	うち国産品	
令和5年	8	133,703 (100.4)	55,955 (118.1)	133,334 (110.0)	31,998 (112.3)	52,234 (110.5)	132,309 (99.1)
	9	135,797 (100.3)	48,372 (103.4)	132,497 (109.3)	30,049 (116.3)	49,209 (105.2)	137,746 (99.8)
	10	145,552 (100.5)	47,805 (88.6)	130,926 (102.7)	29,754 (118.0)	49,376 (103.6)	145,847 (100.3)
	11	146,801 (101.8)	39,181 (78.7)	119,960 (92.3)	30,873 (132.1)	50,147 (105.9)	145,682 (99.7)
	12	155,398 (101.5)	50,981 (115.1)	115,660 (93.1)	33,551 (136.1)	55,281 (110.5)	152,720 (100.6)
令和6年	1	140,093 (102.0)	54,687 (123.3)	125,877 (100.2)	31,152 (127.5)	44,470 (103.5)	142,492 (103.5)
	2	144,552 (108.0)	55,395 (117.6)	124,137 (96.9)	34,868 (139.6)	57,135 (128.1)	140,836 (105.6)
	3	143,802 (100.4)	52,670 (110.8)	129,110 (101.8)	36,868 (136.3)	47,697 (97.7)	141,802 (100.5)
	4	146,411 (104.8)	52,006 (109.7)	127,057 (106.3)	35,506 (128.9)	54,059 (98.7)	147,773 (106.2)
	5	147,168 (103.0)	53,259 (103.0)	131,041 (102.8)	36,263 (123.6)	49,275 (112.7)	146,411 (103.8)
	6	143,169 (101.0)	49,373 (85.6)	133,066 (99.6)	36,708 (128.4)	47,348 (91.8)	142,724 (100.2)
	7	139,722 (104.5)	51,778 (110.9)	133,594 (103.1)	35,468 (115.9)	51,250 (101.1)	140,962 (107.1)
	8	130,029 (97.3)	56,697 (101.3)	137,941 (103.5)	35,094 (109.7)	52,350 (100.2)	130,403 (98.6)
	9	135,916 (100.1)	49,125 (101.6)	136,518 (103.0)	33,154 (110.3)	50,548 (102.7)	137,856 (100.1)
	10	147,681 (101.5)	62,323 (130.4)	141,112 (107.8)	32,202 (108.2)	57,729 (116.9)	148,633 (101.9)
	11	144,235 (98.3)	51,967 (132.6)	139,323 (116.1)	30,780 (99.7)	53,756 (107.2)	145,657 (100.0)
	12	154,393 (99.4)	49,932 (97.9)	134,940 (116.7)	29,565 (88.1)	54,315 (98.3)	155,608 (101.9)
令和7年	1	139,100 (99.3)	52,300 (95.6)	139,154 (110.5)	26,258 (84.3)	48,086 (108.1)	142,407 (99.9)
	2	136,695 (94.6)	47,691 (86.1)	139,214 (112.1)	25,720 (73.8)	47,631 (83.4)	137,233 (97.4)
	3	146,506 (101.9)	42,303 (80.3)	131,242 (101.7)	25,771 (69.9)	50,275 (105.4)	146,455 (103.3)
	4	148,548 (101.5)	47,714 (91.7)	127,432 (100.3)	24,973 (70.3)	51,524 (95.3)	149,346 (101.1)
	5	146,331 (99.4)	48,537 (91.1)	128,174 (97.8)	26,982 (74.4)	47,795 (97.0)	144,322 (98.6)
	6	141,698 (99.0)	51,556 (104.4)	128,818 (96.8)	29,793 (81.2)	50,912 (107.5)	138,887 (97.3)
	7	142,858 (102.2)	48,245 (93.2)	124,093 (92.9)	31,278 (88.2)	52,970 (103.4)	141,373 (100.3)
	8	138,069 (106.2)	49,613 (87.5)	126,707 (91.9)	33,153 (94.5)	46,999 (89.8)	136,194 (104.4)

[訂正]本紙10月6日付の「ナンチクが『黒乙女55』のメディア試食会を開く」の記事中、姉妹ブランド「黒乙女」の記載に誤りがありました。文中にある(直営牧

場育ちの未經産雌、A5等級)は誤りで、正しくは(直営牧場育ちの未經産雌)となります。おわびして訂正します。

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 10月7日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,785	2,968	2,216	-	-
		安値	2,214	2,026	2,160	-	-
		平均	2,604	2,316	2,182	1,936	-
	88頭	頭数	51	32	4	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	2,052	-	-	-	-
	1頭	頭数	1	-	-	-	-
	去 A	高値	3,256	2,343	2,238	1,946	-
		安値	2,052	2,106	1,944	1,713	-
		平均	2,491	2,237	2,137	1,852	-
	194頭	頭数	129	52	11	2	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,739	1,555	1,468	
	9頭	頭数	-	3	3	3	
	雌 C	平均	-	-	-	-	
	-頭	頭数	-	-	-	-	
去 B	平均	-	1,805	1,584	1,472		
39頭	頭数	-	8	16	15		
去 C	平均	-	-	1,535	1,311		
5頭	頭数	-	-	2	3		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	416	887	-	(競り)	(相対)	
売買	426	1,000	55.5	-	9	73

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,814	1,785	1,558	-	-
	B	-	-	1,534	1,382	-
和 去	A	2,458	2,186	1,930	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	996	972
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	-	1,383	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	627	720	691	626	540
	安値	572	540	486	433	346
	平均	595	570	551	534	526
	頭数	(12)	(406)	(353)	(109)	(120)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入相対	高値	-	-	-	-	572
安値	-	-	-	-	-	539
平均	-	-	-	-	-	567
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(9)

[大阪食肉卸売市場] 10月7日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,336	2,193	1,917	-	-
(頭数)	(2)	(7)	(6)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,507	2,194	1,943	-	-
(頭数)	(15)	(8)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	-	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	-	1,518	1,445	-
C	-	-	-	-	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	10月7日	10月6日	(10月累計)
豚	65,600	64,900	313,900
成牛計	4,520	4,590	22,000
和牛雌	1,140	1,090	5,740
和牛去勢	1,300	1,370	5,710
乳牛雌	900	470	3,580
乳牛去勢	480	520	1,920
交雑雌	290	460	2,250
交雑去	410	680	2,690

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 10月7日

東京	1,520円	(前日 1,471円)
大阪	1,474円	(前日 1,468円)

[豚・全農建値] 10月7日

上	中	取引頭数	市況
575円	555円	1,103頭	強もちあい

と畜	牛 78頭	豚 55頭	牛概況	もちあい
売買	牛 49頭	豚 -頭	豚概況	-

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 10月7日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	626 (626)	- (-)	5,980	-	もちあい
仙台 [中]	578 (601)	504 (550)	439	36	反落
栃木 [地]	- (573)	- (524)	-	-	休市
茨城 [地]	567 (578)	545 (554)	1,282	596	下押し
群馬 [地]	565 (551)	512 (457)	2,208	223	反発
さいたま [中]	583 (572)	573 (560)	186	185	反発
東京 [中]	570 (554)	551 (547)	887	1,000	上伸
横浜 [中]	572 (592)	542 (552)	671	674	反落
山梨 [地]	706 (-)	661 (-)	129	87	急伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	584 (631)	567 (583)	943	279	続落
京都 [中]	649 (658)	624 (664)	102	95	もちあい
大阪 [中]	- (765)	- (617)	55	-	上場なし
神戸 [中]	795 (-)	820 (-)	-	134	-
岡山 [地]	628 (612)	607 (595)	365	221	強気配
広島 [中]	649 (602)	578 (559)	277	116	急騰
福岡 [中]	594 (612)	556 (576)	514	162	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 9月30日～10月6日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,494,619 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,220	1,295	1,345	1,288	70,205
うで	745	808	864	811	116,090
ロース	1,134	1,210	1,339	1,221	137,443
ばら	1,226	1,312	1,361	1,298	146,751
もも	774	814	853	822	173,992
ヒレ	1,075	1,164	1,234	1,147	12,968
セット	976	1,071	1,125	1,061	837,170

◇近畿圏 総重量 752,213 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,296	1,379	1,426	1,372	60,236
うで	702	781	845	773	124,514
ロース	1,134	1,296	1,337	1,272	94,083
ばら	1,313	1,373	1,421	1,361	139,698
もも	751	775	845	784	168,963
ヒレ	1,242	1,365	1,444	1,366	10,846
セット	962	1,035	1,190	1,052	153,873

[食鳥正肉日経相場] 10月6日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	646	728	926	178
ムネ	509	554	700	153

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	643	739	1,030	3
ムネ	515	551	650	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 10月6日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,016	789	550	600	650
安値	630	490	290	360	350
平均	747	569	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日期間中（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランケット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

- 大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48 TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510
- 東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10 TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928
*東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。
- 九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12 TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995